編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-153	高等学校	芸術科	美術Ⅰ	
※発行者の番号・略称	**※教科書の記号・番号**	**※教科書名**		
38　光村	美Ⅰ　038-901	美術 1		

1. 編修の基本方針

美術を知る楽しさ
つくりだす喜び

教科書を開いた生徒たちが、表現することの喜びと、鑑賞することの楽しさを感じることができる紙面になるよう心がけました。美術を通して多様な価値観に出会い、表現の可能性を追求することができるよう、また、中学校美術科で培った美術の基礎的な力をさらに伸ばし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てられるよう、次のことを基底において編修しました。



特色 1

創造する力を培う

―― 発想を広げる手がかりや表現の技法を詳しく掲載した教科書です。

・・・

作品の発想のしかたや表現技法などを具体的に示し、生徒たちが自ら作品の主題を生み出せるようにしました。掲載作品については、それぞれの表現の工夫を感じ取れるよう、作者の表現の意図を示したり、制作の過程を紹介したりしました。

特色 2

感性を育み、美術文化への理解を深める

―― 造形的な見方・考え方を育むとともに、美術文化に触れることのできる教科書です。

・・・

美術や美術文化についての学びを深めることができるよう、美術史の用語についてのコラムを設けたり、年表を充実させたりしました。また、造形的な見方・考え方を育成するため、色彩についての資料を新たに設けるなど、構成を工夫しました。

特色 3

生活や社会に広く関わる

―― 生活や社会の中での美術の役割について考えることのできる教科書です。

・・・

アール・ブリュットを取り上げた題材や、社会の仕組みそのものをデザインした作例を扱う題材などを新たに設けました。生徒が美術のもつ力や、生活や社会の中での美術の働きを感じ取り、自分の表現に生かすことができるようにしました。

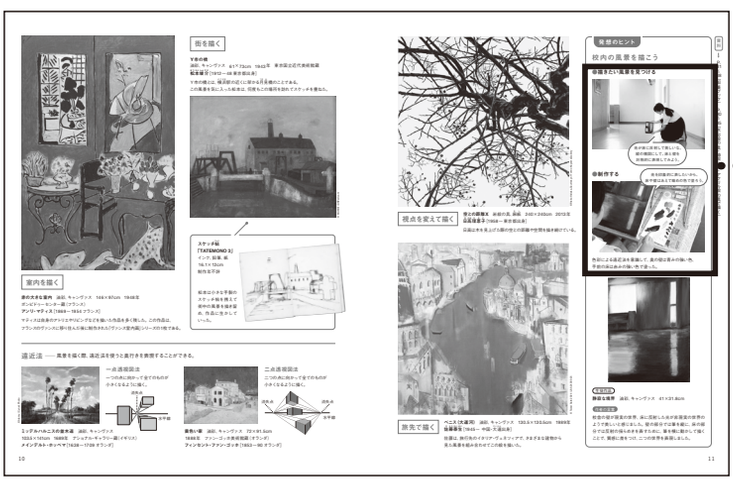
特色 1 創造する力を培う

—— 発想を広げる手がかりや表現の技法を詳しく掲載した教科書です。

発想のヒント

発想を広げる手立てを示しました。

生徒が作品の発想を広げたり、構想を練ったりする様子を随所に掲載しました。教科書を読んだ生徒が、自身の制作を進める際の手がかりにすることができます。



P.10〜11「風景を描く」



発想を広げたり、制作の見通しを立てたりするときの参考になるね。



光が床に反射して美しいな。縦の構図にして、床と壁を対称的に表現してみよう。

●描きたい風景を見つける

●制作する

光を印象的に表したいから、床や壁はあえて暗めの色で塗ろう。

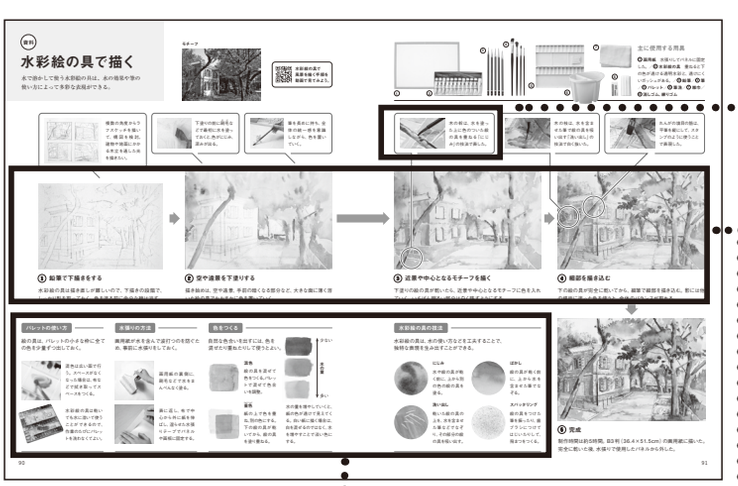


色彩による遠近法を意識して、奥の壁は青みの強い色、手前の床は赤みの強い色で塗った。

技法の資料

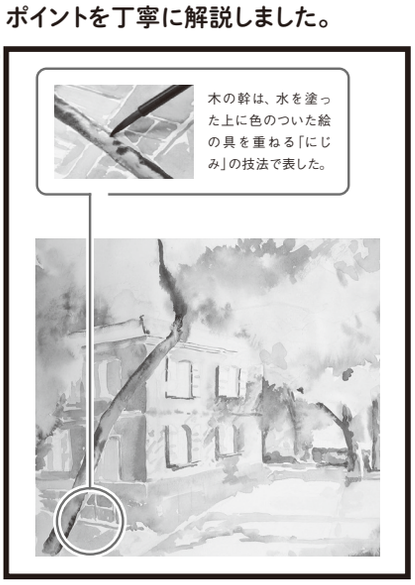
制作のポイントや流れをわかりやすく示しました。

技法資料の紙面構成を刷新しました。制作の過程を流れに沿って一列に並べ、ポイントを引き出し線とともにわかりやすく示しています。



P.90〜91「水彩絵の具で描く」

引き出し線で該当箇所を示して、ポイントを丁寧に解説しました。



木の幹は、水を塗った上に色のついた絵の具を重ねる「にじみ」の技法で表した。

用具の使い方や混色の方法をまとめて示し、参照しやすくしました。

制作過程を一列に並べ、流れをわかりやすく示しました。

特色 2 感性を育み、美術文化への理解を深める

—— 造形的な見方・考え方を育むとともに、美術文化に触れることのできる教科書です。

作品を読み解く

鑑賞のポイントを丁寧に示しました。

大きく鮮明な図版とともに、形や色彩などを意識して鑑賞するための手がかりとなるポイントを示しました。また、美術史について理解を深めるコラムを随所に設けました。



P.12〜14「作品を読み解く グランド・ジャット島の日曜日の午後」

POINT 色

スーラは熱心に最先端の色彩理論を学習し応用した。純色を点描したのもその一つだが、さらに彼は、補色（P.120参照）を利用した。青とオレンジ、緑と赤紫といった、色相環で向かい合う位置にある二つの色（＝補色）が隣り合うと、互いの色を引き立たせる。スーラは補色を効果的に活用し、その結果、この絵の色彩はより鮮明になった。

造形的な見方・考え方を育てるとともに、美術史への理解にもつながる内容を、ポイントとして掲載しています。

作品が描かれた時代背景や、美術史用語の意味を解説するコラムを設けています。

美術史ワード ポスト印象主義

印象主義（P.9参照）の後におこった美術の動向。ポール・セザンヌ、フィンセント・ファン・ゴッホ、ポール・ゴーギャン、ジョルジュ・スーラ、ポール・シニャックらが、それぞれの表現を追求した。スーラとシニャックは、印象主義の筆触分割を細分化した点描を用い、「新印象主義」ともよばれた。

▶P.42〜44 西洋美術史年表

「ポスト印象主義」の解説動画を見てみよう。



二次元コードから、美術史の用語について短時間で学ぶことができる、解説動画を見ることができるよ。



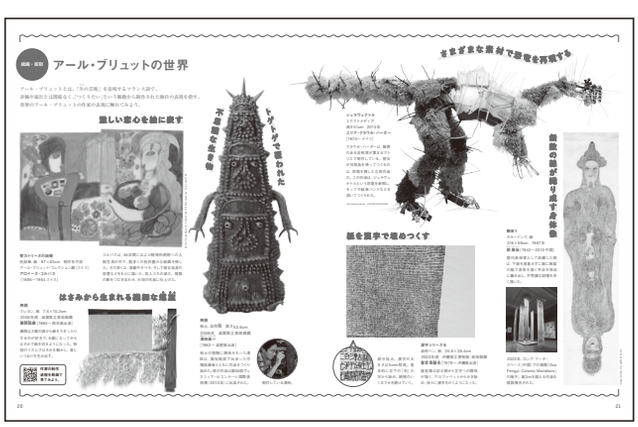
特色 3 生活や社会に広く関わる

—— 生活や社会の中での美術の役割について考えることのできる教科書です。

新しい題材

新しい鑑賞題材を設けました。

生活や社会の中での美術の働きや、美術のもつ力を感じ取ることができるよう、アール・ブリュットを取り上げた題材や、社会の仕組みをデザインした作例を扱う題材を新たに設けました。



P.20〜21「アール・ブリュットの世界」



P.62〜63「社会の仕組みをデザインする」

2. 対照表

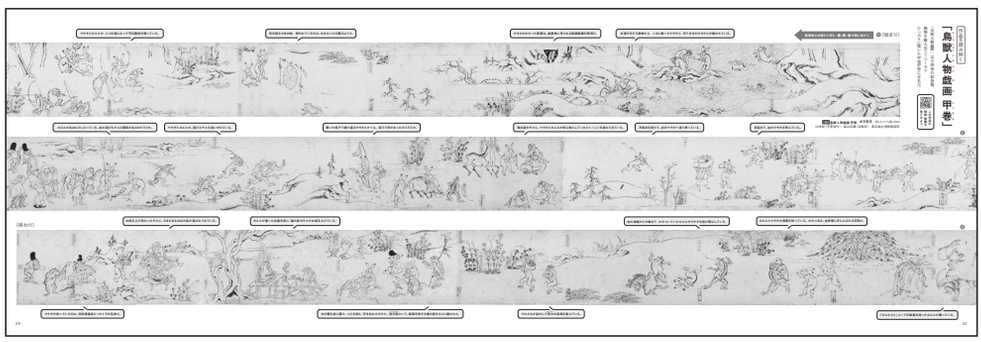
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
はじめに	美術の活動へと誘う「美術は自由だ」という文章を掲載し、生徒が真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うよう配慮した。【第一号】	P.2-3
絵画・彫刻	生徒自身が考え、判断し、真理を求めようとする態度を養うために、各題材に目標を明示した。【第一号】	P.6-41
	互いの価値観を尊重しながら創造性を培うことができるよう、さまざまな発想のもとでつくられた作品を掲載するとともに、適宜「作者の言葉」を添えた。【第二号】	P.4-47
	現在活躍している作家を取り上げ、作品をつくるうえでの考えや制作過程を紹介した「作家の手法」を掲載し、作家としての生き方に触れ、勤労を重んずる態度を養うよう配慮した。【第二号】	P.18-19 P.39
	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、現代社会の諸問題をテーマに制作された作品や、公共空間に設置された彫刻作品を取り上げた。【第三号】	P.40-41 P.45
	生命を尊び、自然を大切にする態度を養うため、植物や自然物などから感じ取ったことをもとにあらわす題材を設定した。【第四号】	P.6-7 P.8-11
	伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うため、我が国で大切にされてきた美術文化を積極的に掲載した。【第五号】	P.26-27 P.28-33 P.34-35 P.46-47
デザイン	生徒自身が考え、判断し、真理を求めようとする態度を養うために、各題材に目標を明示した。【第一号】	P.50-61
	互いの価値観を尊重しながら創造性を培うことができるよう、さまざまな発想のもとでつくられた作品を掲載するとともに、適宜「作者の言葉」を添えた。【第二号】	P.48-65
	現在活躍している作家を取り上げ、作品をつくるうえでの考えや制作過程を紹介した「作家の手法」を掲載し、作家としての生き方に触れ、勤労を重んずる態度を養うよう配慮した。【第二号】	P.57 P.61
	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、ポスターやサイン、空間デザインなど、公共の場におけるデザインの働きを取り上げた。【第三号】	P.50-53
	自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うため、環境をテーマにしたポスターや、自然物をモチーフにした文様などを掲載した。【第四号】	P.51 P.56
	平和を訴えるポスターや、諸外国の文化を反映した文様などを掲載し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した。【第五号】	P.50-51 P.54-55
映像メディア表現	生徒自身が考え、判断し、真理を求めようとする態度を養うために、各題材に目標を明示した。【第一号】	P.68-75
	互いの価値観を尊重しながら創造性を培うことができるよう、さまざまな発想のもとでつくられた作品を掲載するとともに、適宜「作者の言葉」を添えた。【第二号】	P.66-79
	現在活躍している作家を取り上げ、作品をつくるうえでの考えや制作過程を紹介した「作家の手法」を掲載し、作家としての生き方に触れ、勤労を重んずる態度を養うよう配慮した。【第二号】	P.75
	他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため、さまざまな国に住む人が協力して制作した作品を掲載したり、世界各地で発達した写真および映像表現の歴史を取り上げたりした。【第五号】	P.75 P.76-77 P.78-79
資料	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うよう、絵の具や色に関する資料、さまざまな文字のデザイン、漫画表現の技法などを掲載した。【第一号】	P.89 P.104-105 P.106-107 P.118-127
	技法や用具の使い方、発想の広げ方、鑑賞の手立てなどを汎用性の高い内容に整理して掲載し、生徒自身が必要に応じて参照することで、自主及び自律の精神をもって学習を進められるように配慮した。【第二号】	P.81-88 P.90-103 P.112-115 P.117
	自然に親しみ、大切にする態度を養うため、自然物に由来する伝統色を取り上げた。【第四号】	P.126-127

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

造本上の工夫

屏風や絵巻物を鑑賞する題材は、風合いのある用紙に印刷したり、制作に活用できる「混色のヒント」や「トーン別カラーガイド」は切り離し式にしたりするなど、さまざまな造本上の工夫を施しました。

和紙風の用紙4ページに「鳥獣人物戯画 甲巻」を全て掲載。ストーリー性を感じ取ったり、本物に近い風合いで鑑賞したりできるようにしました。



P.29~32
「作品を読み解く
鳥獣人物戯画 甲巻」

教科書のユニバーサルデザイン

カラーユニバーサルデザインなどの観点から、全ての生徒に使いやすい教科書を目ざしました。



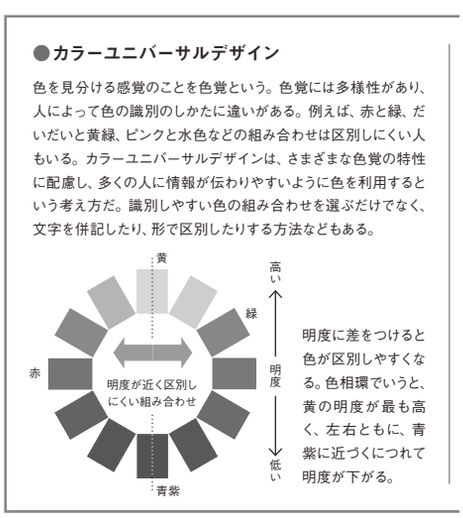
特別支援教育への配慮

特別支援教育の観点から、全ての生徒が学びやすい教科書となるよう配慮しました。
学習の流れが掴みやすくなるよう紙面の構成を工夫し、教科書の全ページについて、専門家の校閲を受けました。

色覚特性への配慮

色に頼ることなく情報を識別できること、色覚特性により判別しにくくなる色の組み合わせは行わないことなどを基本に作成し、全ページについて専門家の校閲を受けました。また、紙面でカラーユニバーサルデザインの考え方や色の組み合わせ方の例などを紹介し、生徒が作品を制作する際に参考にできるようにしました。

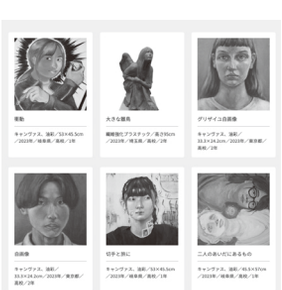




P.121「色を分類する」

ICT 活用への配慮

紙面の二次元コードは、作家や作品についての解説動画、技法動画、色の資料、生徒作品など、学習を深めることのできるさまざまな資料にリンクしています。



全国の高校生の作品を集め、カテゴリごとにまとめたコンテンツへ適宜、リンクを貼っています。作品画像をクリックすると、拡大図版と「作者の言葉」を確認することができます。

生徒作品「自己を表す」



技法動画「油絵の具で静物を描く」



編修趣意書

学習指導要領との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-153	高等学校	芸術科	美術Ⅰ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38　光村	美Ⅰ　038-901	美術 1		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1

創造する力を培う

―― 発想を広げる手がかりや表現の技法を詳しく掲載した教科書です。

鉛筆 BOOK



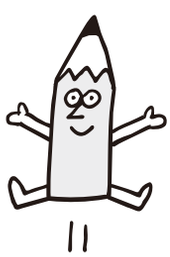
制作の基礎となる鉛筆の技法を丁寧に紹介

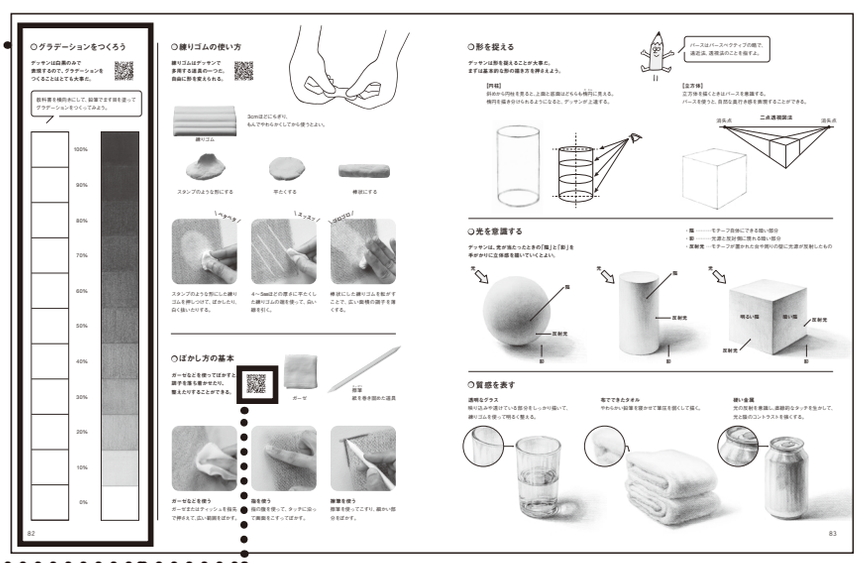
・鉛筆の芯の種類や削り方、持ち方など、基本的な内容から解説しました。

・「鉛筆 BOOK」のページには、鉛筆で描きこむことができる用紙を使用しています。
紙面を読むだけでなく、実際に描いて鉛筆の技法を確認することができます。

描きこんで技法を確認

「鉛筆 BOOK」の 8 ページには、鉛筆で描きこむことのできる用紙を使用しています。グラデーションをつくるなど、紙面を参照しながら鉛筆の技法を試すことができます。



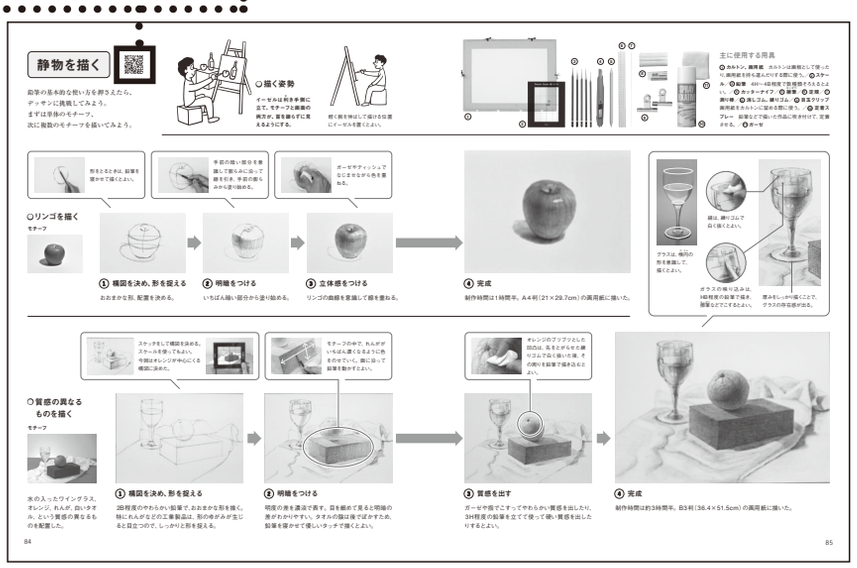


▶ 動画コンテンツが充実

用具の使い方や描く手順などを短時間にまとめた動画資料を、豊富に用意しました。







P.82~85「鉛筆BOOK」

特色 2

感性を育み、美術文化への理解を深める

―― 造形的な見方・考え方を育むとともに、美術文化に触れることのできる教科書です。

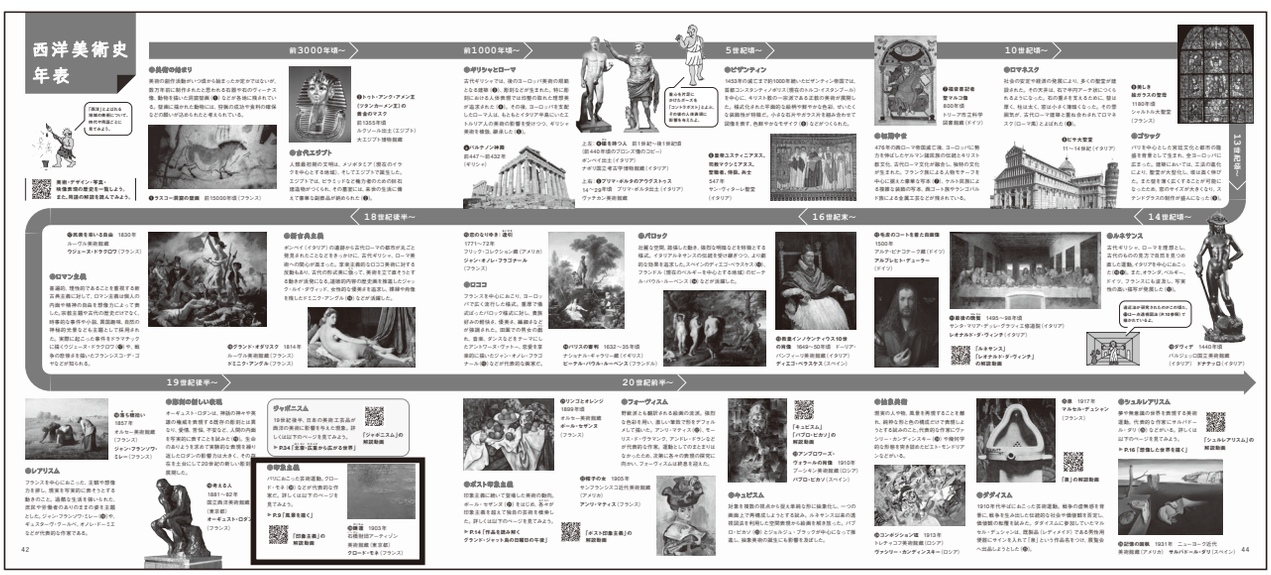


年表

分野別の年表で、美術史をわかりやすく解説

・西洋美術、日本美術、デザイン、写真など、分野ごとに年表を作成しました。主な用語や出来事について、代表的な作例と解説文を掲載しており、歴史の流れが一目で分かります。

・二次元コードから、作家や作品、美術史の用語について短時間で学ぶことができる解説動画にアクセスすることができます。

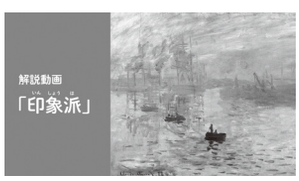


P.42～44「西洋美術史年表」

○関連するページへのリンクを示しました。

○二次元コードから、作家や作品、美術史の用語についての解説動画を見ることができます。





▶ 解説動画「印象派」

解説動画一覧

○作家

「葛飾北斎」「レオナルド・ダ・ヴィンチ」「フィンセント・ファン・ゴッホ」「パブロ・ピカソ」

○作品

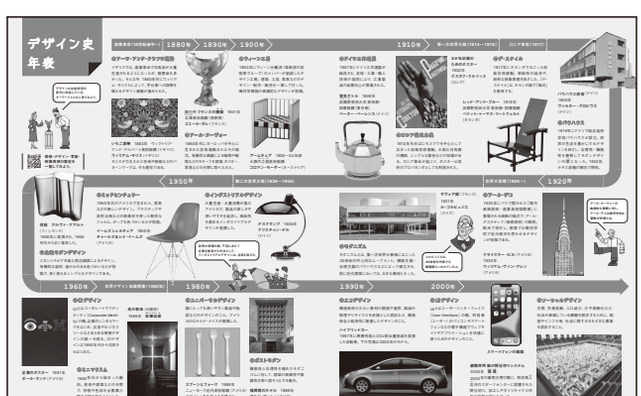
「火焔型土器」「鳥獣人物戯画 甲巻」「四天王立像」「雲龍図」「樹花鳥獣図屏風」「諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝」「明日の神話・太陽の塔」「グランド・ジャット島の日曜日の午後」「泉」

○美術史用語

「ルネサンス」「ジャポニスム」「印象派」「ポスト印象派」「シュルレアリスム」「キュビスム」「琳派」



P.46～47「日本美術史年表」

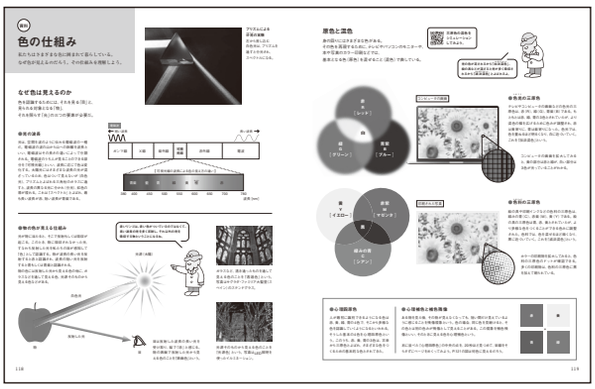


P.64～65「デザイン史年表」

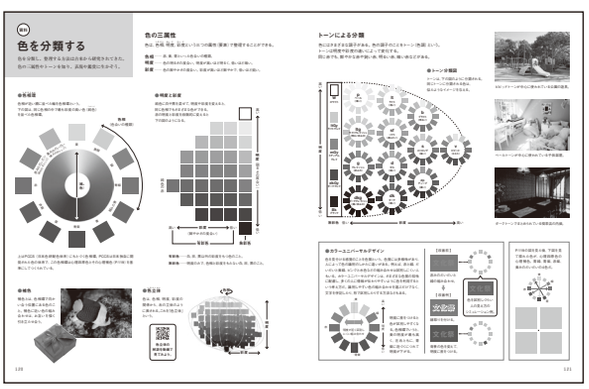
色の資料

色彩についての学びを深める資料が充実

・「色の仕組み」や「色を分類する」など、中学校美術科で学んだ内容を、さらに深める色の資料が充実しています。



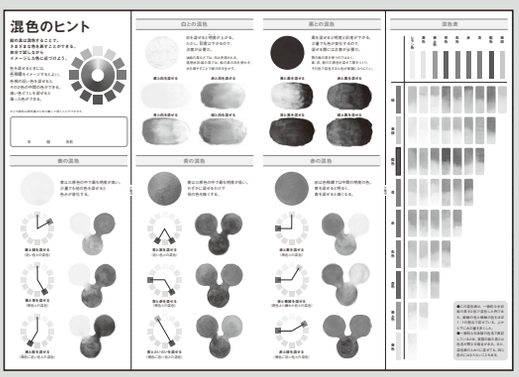
P.118~119「色の仕組み」

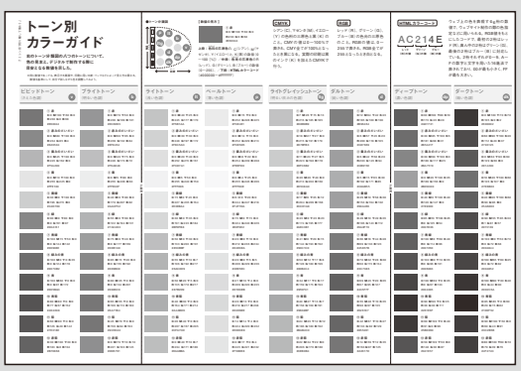


P.120~121「色を分類する」

切り離し式の資料

巻末の「混色のヒント」と「トーン別カラーガイド」は、ミシン目で切り離して折り畳むことで、気軽に携帯して活用することができます。





切り離し式「混色のヒント／トーン別カラーガイド」

特色 3

生活や社会に広く関わる

—— 生活や社会の中での美術の役割について考えることのできる教科書です。

社会と美術

社会の諸問題と向き合ってつくられた作品や、身近なデザインを掲載

・国境や言葉を超えて大切なテーマについて伝える美術作品や、私たちの生活を豊かにするデザイン製品を取り上げ、美術のもつ力を感じ取ることができるように配慮しました。



P.40~41「私たちに問いかける美術」



P.60~61「暮らしやすさのデザイン」

教科書の特色

編集上の留意点	
教育基本法・ 学校教育法との対応	・教育基本法、学校教育法の理念を踏まえ、美術の学習を通して幅広い知識と教養を身につけ、さらに「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力」など、生きる力を支える能力を養えるよう配慮しました。
学習指導要領との対応	・学習指導要領の目標および内容をもれなく指導できるよう、題材を選定・作成しました。 ・各題材の目標を明確にし、表現や鑑賞の活動を通して「発想や構想に関する資質・能力」、「技能に関する資質・能力」、「鑑賞に関する資質・能力」を着実に身につけられるよう、全体を通して系統的に配列しました。
題材の配列・分量	・「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」の分野ごとに全体を構成し、生徒が学習の内容をイメージしやすいよう配慮しました。また巻末に、材料と用具や〔共通事項〕に関わる内容をまとめた資料を設けて、生徒が必要に応じて活用できるようにしました。
掲載作品の選定	・発達段階や生徒の学習意欲を喚起することを考慮して、作品を選定しました。 ・特に発想・構想のしかたに着目して選定した生徒作品を随所に掲載しました。
主体的・対話的で 深い学びへの対応	・各題材の作品の掲載意図を明確にし、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしました。 ・作家の制作過程を詳しく示すことで、「自分ならどういう作品をつくりたいか」と主体的に考えられるよう、工夫しました。 ・生徒が主体的に表現活動を行えるよう、巻末の資料を充実させました。
〔共通事項〕への対応	・各題材に適宜、〔共通事項〕に関わる問いかけや解説を入れ、生徒が〔共通事項〕を意識できるようにしました。 ・巻末資料で、〔共通事項〕に関わる内容を多く取り上げました。
ICTの活用	・二次元コードから、鑑賞を深める資料や表現に必要な技法の資料などを視聴できるようにしました。 ・高校生が描画ソフトで制作した作品を掲載するなど、端末を効果的に活用するイメージがもてるようにしました。
SDGsとの関連	・美術とSDGsとの関連を意識して学ぶことができるよう、大量消費社会をテーマにした美術作品や平和を訴えるポスターなどを掲載しました。
伝統・文化の 取り上げ方	・日本美術を大きく取り上げてそのよさを感じ取らせる工夫をし、我が国と郷土を愛する姿勢を育成できるようにしました。
多様性の尊重	・掲載作品は、地域や時代、性別に偏りが出ないように配慮し、選定しました。 ・アール・ブリュットの作家の作品をはじめ、多様な表現を取り上げました。
知的財産権や 肖像権への配慮	・作品には著作権があることや、写真や映像にうつった人には肖像権があることを紹介し、それらを利用するときはルールを守ることを、注意喚起のマークとともに示しました。
特別支援教育への配慮	・特別支援教育やカラーユニバーサルデザイン（色覚特性）の観点から、教科書の全てのページについて専門家の校閲を受けました。 ・図版と図版の間を空けたり、罫線を引いたりして、境界を明確に区別できるようにしました。
製本・印刷など	・鑑賞図版や文字が鮮明に印刷できる、発色のよいコート紙を使用しています。 ・環境への負荷が少ない、用紙・植物油インキを用いています。 ・製本は堅牢で、生徒がページを開きやすいよう綴じ方も工夫しています。 ・鑑賞活動がより深まるように、襖絵や絵巻物を鑑賞する題材では、風合いのある紙に印刷をしています。 ・鉛筆を使った表現の効果を実感できるよう、「鉛筆BOOK」では直接描きこむことのできる用紙を使用しています。
中学校美術科との接続	・中学校美術科との接続を意識し、始めに位置づけた題材「身近なものを描く」では、既習の表現方法を使って、気軽に描くことのできる内容にしました。 ・中学校美術科で学んだ内容を振り返ったり、深めたりすることができるよう、鉛筆の芯の種類や削り方、持ち方などを「鉛筆BOOK」で丁寧に紹介しました。 ・中学校美術科で学習することの多い「鳥獣人物戯画」や葛飾北斎の作品を掲載し、中学校での既習内容から発展的な紹介のしかたをしています。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所
		A　表現	B　鑑賞	〔共通事項〕	内容の取扱い	
はじめに	美術は自由だ	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ) (3) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (ア) (ウ) イ (ア)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (6)	P.2-3
絵画・彫刻	絵画・彫刻の扉		(1) ア (ア) (ウ)	(1) アイ	(3) (4)	P.4-5
	身近なものを描く	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (8)	P.6-7
	風景を描く	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (ア) (イ)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (8)	P.8-11
	作品を読み解く 「グランド・ジャット島の日曜日の午後」		(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	(3) (4) (8)	P.12-15
	想像した世界を描く	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (8)	P.16-19
	アール・ブリュットの世界		(1) ア (ア)	(1) アイ	(3) (4) (7) (8)	P.20-21
	自己を表す	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ) (3) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (ア) (ウ)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (8)	P.22-25
	墨で描く	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (6) (7) (8)	P.26-27
	作品を読み解く「鳥獣人物戯画 甲巻」		(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	(3) (4) (7) (8)	P.28-33
	北斎・広重から広がる世界		(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	(3) (4) (7)	P.34-35
	人の姿を捉える	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (ア)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (8)	P.36-37
	集めてつくる	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (ア)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (8)	P.38-39
	私たちに問いかける美術		(1) ア (ア)	(1) アイ	(3) (4) (7) (8)	P.40-41
	西洋美術史 年表		(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	(3) (4)	P.42-44
	20世紀後半以降の美術		(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	(3) (4)	P.45
	日本美術史 年表		(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	(3) (4) (7)	P.46-47
デザイン	デザインの扉	(2) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (イ)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (8)	P.48-49
	伝えるデザイン	(2) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (8)	P.50-53
	暮らしを豊かに彩る文様	(2) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	P.54-57
	魅力的なパッケージをつくる	(2) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (イ)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (8)	P.58-59
	暮らしやすさのデザイン	(2) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (イ)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (8)	P.60-61
	社会の仕組みをデザインする		(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	(3) (4) (8)	P.62-63
	デザイン史 年表		(1) ア (イ) イ (イ)	(1) アイ	(3) (4)	P.64-65
映像メディア表現	映像メディア表現の扉		(1) ア (ウ)	(1) アイ	(3) (4)	P.66-67
	写真で表す	(3) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (ウ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (6) (8) (9)	P.68-71
	アニメーションをつくる	(3) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (ウ)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (6) (7)	P.72-73
	記憶に残る映像をつくる	(3) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) ア (ウ) イ (ア)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (6) (8) (9)	P.74-75
	写真史 年表		(1) ア (ウ) イ (イ)	(1) アイ	(3) (4)	P.76-77
	映像表現史 年表		(1) ア (ウ) イ (イ)	(1) アイ	(3) (4) (7)	P.78-79
資料	鉛筆BOOK	(1) イ (ア) (イ) (2) イ (ア) (イ)		(1) アイ	(4) (5) (10)	P.81-88
	資料の扉		(1) イ (ア) (イ)	(1) アイ	(3) (4)	P.89
	水彩絵の具で描く	(1) イ (ア) (イ)		(1) アイ	(4) (5)	P.90-91
	油絵の具で描く	(1) イ (ア) (イ)		(1) アイ	(4) (5)	P.92-93
	アクリル絵の具で描く	(1) イ (ア) (イ) (2) イ (ア) (イ)		(1) アイ	(4) (5) (10)	P.94-95
	日本画の絵の具で描く	(1) イ (ア) (イ)		(1) アイ	(4) (5)	P.96-97
	版画の技法	(1) イ (ア) (イ)	(1) ア (ア)	(1) アイ	(3) (4) (5) (10)	P.98-101
	彫刻（塑造）の技法	(1) イ (ア) (イ)		(1) アイ	(4) (5)	P.102-103
	文字をデザインする	(2) イ (ア) (イ)	(1) ア (イ) (ウ) イ (ア)	(1) アイ	(3) (4) (8)	P.104-105
	漫画表現の技法	(1) イ (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	(3) (4) (7) (8)	P.106-107
	写真を撮影する	(3) イ (ア) (イ)	(1) ア (ウ) イ (ア)	(1) アイ	(3) (4) (9)	P.108-109
	映像を制作する	(3) イ (ア) (イ)		(1) アイ	(4) (9)	P.110-111
	発想の広げ方①	(1) ア (ア) (イ) (2) ア (ア) (イ) (3) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) (イ) (ウ) イ (ア)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (6) (7) (8)	P.112-113
	発想の広げ方②	(1) ア (ア) (イ) (2) ア (ア) (イ) (3) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) (イ) (ウ) イ (ア)	(1) アイ	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (8)	P.114-115
	美術館を楽しむ		(1) ア (ア) (イ) (ウ) イ (ア)	(1) アイ	(3) (4) (9)	P.116
	鑑賞の手がかり		(1) ア (ア) (イ) (ウ)	(1) アイ	(3) (4) (8)	P.117
	色の仕組み		(1) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) アイ	(3) (4) (7)	P.118-119
	色を分類する					P.120-121
	色の効果					P.122-123
	さまざまな配色					P.124-125
	日本と世界の伝統色					P.126-127
	【切り離し式】トーン別カラーガイド	(1) イ (ア) (イ) (2) イ (ア) (イ) (3) イ (ア) (イ)		(1) アイ	(4)	P.129-130
	【切り離し式】混色のヒント					P.131-132
	あとがき		(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	(3) (4)	P.128、133